

2026 年度外国語学部 FD 活動方針・活動計画

(英米学科、スペイン・ラテンアメリカ学科、フランス学科、ドイツ学科、アジア学科)

外国語学部では 2026 年度には学部 FD・SD 委員会を軸として FD 活動を実施する。学部 FD 委員会では、2025 年度には国際センターの藤掛千絵先生および外国語学部森山貴仁先生をお招きし、それぞれ国際共修としてのディベートとアクティブなディスカッションを通じた語学力の向上を目的とする授業のデザイン方法についてご自身の実践をご紹介いただき、近年注目を浴びるアクティブラーニング実施の可能性および運用上の課題に関して教員の意識向上と情報共有をはかった。2026 年度も外部講師を招聘し、教育における新技術の導入や学生支援の効率化など、教育の改善に資する主題についての FD 講演会・研修会を開催する。

2026 年度の各学科の FD 活動方針・活動計画は以下のとおりである。

英米学科

- 1) 学科の各授業科目をさらに充実したものにするには何が必要か、学科会議等で議論を深めていく。
- 2) 学科英語科目 (AEA, AEB) の運営について、担当教員を中心に FD を行う。
- 3) 学科運営のための学科内の役割分担の理想的な方法を模索する。
- 4) Open Campus、高校への模擬授業について、より魅力的なものになるように FD を行う。
- 5) 学科教員の教育、研究、学内業務のいずれかの FD につながる講演会を開催し、それをもとに FD 活動を行う。

スペイン・ラテンアメリカ学科

- 1) 授業運営や事務手続きについて、学科会議等で情報共有をし、教員のスキル向上を図る。
- 2) 講演会・研究会を開催し、その後の意見交換で教員の研究意欲向上に努める。
- 3) 学科必修のスペイン語科目、あるいは、その他の言語科目について、言語科目コーディネーターを中心に、学科会議を通じて運営上の調整を行う。
- 4) 新カリキュラムや科目の開講時期の変更について、その効果について学科会議で検討する。
- 5) 海外フィールドワークのやり方について、ノウハウを学科会議等で情報共有する。
- 6) 演習の実施方法、研究プロジェクトの評価方法について、学科懇談会などを通じて議論し、スキル向上に役立てる。
- 7) スペイン語劇の支援体制について学科会議で議論する。

フランス学科

- 1) カリキュラム再編の検討：教学マネジメントの枠組みで行われる各種調査等をふまえ、

引き続き教育課程編成の再検討を行う。

- 2) 授業運営の点検と改善：外国語学部主催 FD 講演会をはじめ、他部署が主催する FD 講演会等に各自が出席することで、国際共修やアクティブラーニングに関する知識を身につけ実践につなげる。フランス語教育ミーティング等を通じてフランス人教員と日本人教員の連携をさらに深める。
- 3) 学習支援システムの充実：履修ガイダンスや海外 FW に関するガイダンスの実施、オフィスアワーの設置と周知、ゼミにおける指導、学科ウェブサイトや SNS の充実に加え、TCF や DELF などの外部語学試験の集団受験の実施、キャリア教育（「キャリアを考えよう」ならびに「学び方講座」）の実施、学生有志のフランス語劇の支援を通じて学生の履修指導、留学支援、学習支援を継続する。

ドイツ学科

- 1) 学科運営が円滑に進むよう、教員同士のコミュニケーションを密にするとともに、特定の教員に負担が集中しないよう学科業務を適切に分担する。
- 2) 授業の質向上、および教員の資質・能力向上のため、学科専任教員・外国語教育センター所属 L.I. 教員・非常勤講師の間で、学生の学習状況や授業の進捗状況についてクォーター毎に議論し、学習環境の充実を図る。
- 3) アクティブラーニング系授業の成果をどのように発表していくかについて議論する。
- 4) 高校からの模擬授業依頼は可能な限り引き受け、学生の協力も得ながら、ドイツ学科の魅力を積極的にアピールしていく。また、生成 AI が発達した時代に外国語を学ぶことの意義について高校生が考える機会を提供し、外国語学部進学への意欲を高める。
- 5) キャリア教育については、学科生向けのキャリア入門講演会を開催し、キャリア意識の形成および向上を図る。

アジア学科

- 1) 引き続き初年次の外国語科目と演習科目に重点をおいて学生の学習到達度を確認する。外国語の各種能力試験の受験状況および合格状況を把握する。
- 2) 専攻間における学生数のバランスを保持するため、有効な方策について学科会議での検討を継続する。
- 3) 「海外フィールドワーク A/B」の実施状況を点検し、今年度の円滑な実施に向けて準備を進める。
- 4) ルーブリックに基づいた卒業論文の客観的な成績判定を継続する。
- 5) 効果的な学生指導ができるよう、引き続き学科教員間および学科教員と非常勤講師との緊密な連携を図る。
- 6) 学科特設 Web ページ、および学科公式 Instagram の活用方法を検討して、受験生や在学生に本学科の特徴を十分に伝えられるよう工夫する。

- 7) インドネシア語学習の意欲を高め、能力を向上させる一助として実施しているインドネシア語スピーチコンテストの開催に向けて準備を進める。
- 8) 中国・台湾およびインドネシアへの国費留学希望者に対する説明会や個別支援を継続する。
- 9) 2020年度から始めた輔仁大学の学生とのSNSを利用した交流プログラムを継続し、学科生との国際交流を一層充実させる。
- 10) 国際化推進事業で輔仁大学の学生を招聘し、授業運営補助を通して学科生の中国語運用能力の向上を図る。
- 11) キャリア支援課と連携しながら、1年次生、2年次生および3年次生に対してキャリア講習の場を設け、キャリア意識の形成および向上を図る。

以上